

「食品企業のCSRの本質とは」

企業の社会的責任と訳されているCSRだが「企業が事業を通じて継続的に果たすべき社会的信頼」を指している。荷の重いイメージを持たれるCSRだが、日々の事業活動の地道な積み重ねこそが、食品企業のCSRのスタートではないか——。多くのCSRご担当者の方のご参加をお待ちしております。

主催：食品産業新聞社、後援：財団法人食品産業センター、協力：食品産業CSR研究会

日時：2009年2月25日（水） 午後1時30分開場、午後2時開始

場所：製粉会館5階会議室（東京都中央区日本橋兜町15-6、TEL03-3668-1956）

定員：80名

会費：お一人様8,000円（資料代・名刺交換懇親会費含む、会場でお支払いください）

内容 ■基調講演（午後2時～3時）

「食品産業のCSRとは」

講師：谷本寛治氏（一橋大学大学院教授、経営学博士）

■パネルディスカッション「中小食品企業のCSRの本質」

パネラー自己紹介及び活動報告各10分（午後3時15分～45分）

パネルディスカッション（午後3時45分～5時）

パネリスト・谷本寛治氏／矢野友三郎氏（独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）生活・福祉技術センター次長、元ISO/SR国際委員）／長澤重俊氏（はくばく代表取締役社長）／古谷由紀子氏（消費生活アドバイザー、シニアリスクコンサルタント）／他、食品企業代表1名（予定）

■名刺交換懇親会（午後5時～6時）

お申込みは事務局まで FAX03-3824-5171

お問い合わせ先 食品産業新聞社 担当=加藤、瀬戸、TEL=03-3824-9111

メール=beibaku@ssnp.co.jp

氏名	
役職名	
勤務先名	
住所	
電話番号	
メールアドレス	